

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/10/10

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.53	-0.02
JPY/THB	0.2246	-0.0019
USD/JPY	149.31	1.11
EUR/THB	36.69	-0.17
EUR/USD	1.0939	-0.0041
USD/CNH	7.093	0.019
SGD/THB	25.65	-0.08
AUD/THB	22.53	-0.11
USD/INR	83.96	0.00
USD Index	102.93	0.38

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,606.0	-9
WTI (Oil)	73.24	-0.33
Copper	9,675.0	-67.5

## Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,456.97	4.17
NIKKEI (JP)	39,277.96	340.42
DOW (US)	42,512.00	431.63
S&P500 (US)	5,792.04	40.91
SHCOMP (CN)	3,258.86	-230.92
DAX(GER)	19,254.93	188.46

## Bond

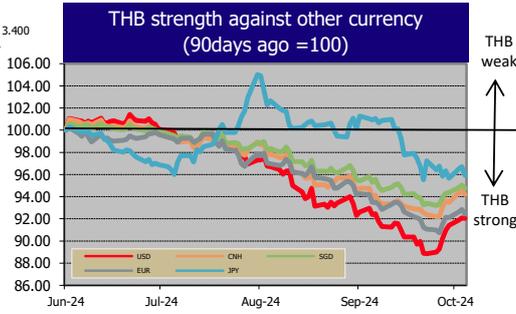
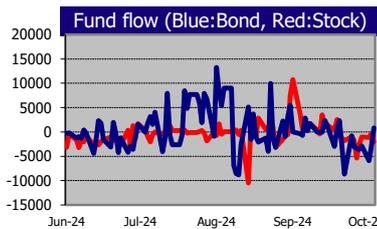
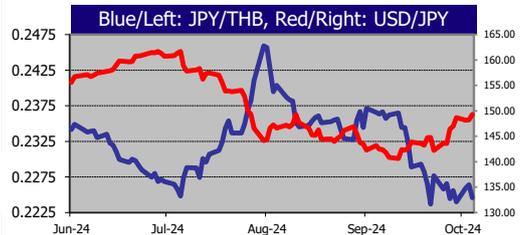
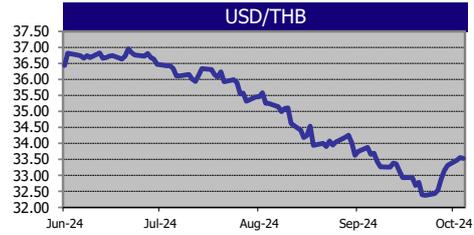
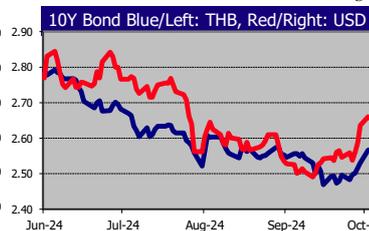
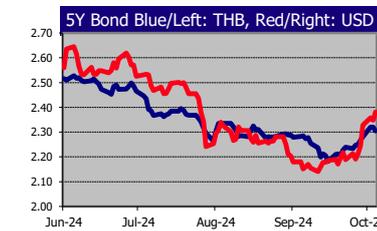
	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.305	-0.015
10Y (THB)	2.551	-0.017
5Y (USD)	3.917	0.071
10Y (USD)	4.073	0.061

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,064)	-1720.9
Bond net flow	851	3837.9

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

昨日のドルパーツはほぼ変わらず。33パーツ半ば付近でスタートした後、ドル売りが先行したが、タイパオム財務次官の「年内25bp利下げの可能性が高い」や「パーツは依然と高過ぎ」などの発言を受けて、値を戻す展開となった。その後は33パーツ半ば付近でのみみ合い推移が継続。NY時間では米金利が高水準にあることや、9月FOMC議事録要旨で「一部参加者が25bp利下げの方が好ましい」と判明されたことを受けて、終盤にかけて底堅く推移し、33.53レベルでクローズ。

### ●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。148円台前半でスタート。東京時間午前中に同水準でのみみ合い推移が継続したが、午後中国の財政政策強化に関する記者会見が開かれ、追加の景気刺激策に対する期待感から、クロス円の上昇が主導で148円台後半まで上昇。その後小幅反落する場面はあったが、総じて堅調に推移。NY時間午前中に米金利の上昇とともに、149円台前半まで上値を伸ばした。午後発表された9月FOMC議事録要旨を受けて、次回会合で大幅利下げの観測が後退したこと、終盤にかけて高値圏での推移が続き、149.31レベルでクローズ。

## Bangkok Dealer's Eye

目下タイ国内の材料としては、来週16日に開催されるタイ中銀の金融政策決定会合(MPC)が注目されるが、グローバルには、本日米国時間に発表される米9月CPIや、来週17日開催の欧州ECB理事会なども注視が必要な状況だ。米国では先週末の予想外に強かった雇用統計の結果を受け、ノーランディングというシナリオも聞こえ始めるようになっており、仮にハードでもソフトでもないとなると、9月に実施した大幅利下げの今後の影響はかなり気になるところとなる。まずは今夜の米CPIデータに注目したい。他方、欧州では9月会合の利下げ後に次回10月会合での連続利下げを見る向きはほぼゼロだったにも拘わらず、足元の経済指標で明らかな経済の失速とインフレの下振れリスクが確認されるようになってからは市場の見方が変わり、今となっては来週の会合でほぼ確実に利下げが実施されることがスワップ市場で織り込まれている。米と欧の景気認識が当初の想定からそれぞれ逆方向、かつ同タイミングで変わりつつあるため、今後のデータ次第ではユーロ相場が崩れるシナリオも意識しておくようにしたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.